

貨物鉄産労は7月6日、第28回定期大会を開催し、貨物民主化実現の取り組み等について方針を確認した。そうした中、大会を終えたばかりの7月9日、今年度の新規採用者1名の加入を勝ちとるという快挙を成し遂げた！

貨物鉄産労に 18歳の新規採用者が加入！

今回、貨物鉄産労に加入したのは東海支社の静岡総合鉄道部・運輸課に勤務する今年度新規採用者の18歳の青年だ。7月5日には、関西地区本部で50歳代の仲間が日貨労と訣別し、加入したばかりであり、貨物鉄産労は今月に入って、2名の組織拡大を果たしたことになる。

JR連合と貨物鉄産労は、この間、鉄道運輸機構の利益剰余金、東日本大震災に対する第三次補正予算、税制特例措置継続など、JR貨物に対する経営支援の取り組みを積極的に展開し、おおきな成果をあげてきた。現在も、被災地からの瓦礫輸送など、鉄道貨物輸送のシェア拡大に向けて、取り組んでいるところである。

今年で結成25周年を迎えた貨物鉄産労は、「ひとつの歴史の節目として、新たな出発点とするために、これからの一年間を全国からの組織拡大で彩らなければならない。今一度、新規採用者を含めた周りの仲間、『声かけ』を行い、結果を出そう！」と全国に号令をかけている。

JR西労組もJR総連・西労から1名組織拡大！

一方、JR連合の主力単組であるJR西労組も積極果敢な組織拡大の取り組みを展開している。6月30日には広島地本で48歳のベテラン運転士がJR総連・西労と訣別し、JR西労組に加入した。この新しい仲間は、「若い仲間の皆さんと共に頑張りたい」と決意を明らかにしている。

東労組盛岡地本の会館名は、なんと「JRこぶし会館」！

ところで、東労組の盛岡地本と言えば、東京と並ぶ、拠点地本である。右写真にもあるように、2000年8月29日には、自前の会館を竣工した。ところが、その会館名が、なんと「J



Rこぶし会館」！「こぶし」と聞けば、誰もが革マル派文献を多数出版する『こぶし書房』を連想するだろう。やっぱり両者は深い縁で結ばれているのか？